

栄養科たより

北海道の七夕は8月7日？

道外では7月7日を七夕としている地域が多いですが、なぜ北海道では8月7日を七夕としていることが多いのかご存知でしょうか？

もともと日本では、旧暦7月7日を七夕としていましたが、新暦に改暦する際、「7月でも8月でも良い」と国で発表があり、地域によって七夕の日が異なるそうです。

北海道では、旧暦7月下旬～8月にかけて農耕のお祭りが多くあったため、お祭りに合わせて七夕も新暦の8月7日にした地域が多いと言われています。

一般的に函館を含む道南では7月に行く地域が多く、札幌や旭川を含む道央・道北・道東では8月に行く地域が多いようです！

七夕に食べるものって？

「七夕に食べるものは？」と聞かれたら、そうめんを思いうかべる方が多いのではないのでしょうか？

平安時代からそうめんは七夕に食べるものとして親しまれてきたそうです。

七夕は中国から伝わってきましたが、そうめんの原型とされる素餅(さくべい)も中国から伝わってきました。

素餅は、小麦粉と米粉を混ぜて作る麺で、食べる事により、「今年1年、無病息災で過ごせる」と中国で言われていたそうです。

素餅が旧暦の7月7日(七夕)にお供えされたことから、日本に伝わり、そうめんを七夕に食べるようになったと言われています。

中国の七夕は日本と少し違い、「機織りや裁縫の上達を願った」という意味のある行事だそうです。

そのことから、そうめんを白い糸に見立て、食べるようになった、とも言われているそうです。